

2000年「ダンサー・イン・ザ・ダーク」

そして

2001年度 カンヌ映画祭パルムドール賞受賞作品

(最優秀作品賞)

生きているときは、開けてはいけないうちのドアでした。



サケール・フィルム提供

ナンニ・モレッティ作品

息子の部屋

カンヌ映画祭の観客席を総立ちにさせたあたらしい感動の形

THE SON'S ROOM

ナンニ・モレッティ ラウラ・モランテ

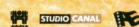
ジャスミン・トリンカノ・ジュゼッペ・サンフェリーチェ・シルビオ・オルランド・ステファノ・アコルシノ・クラウディア・デラ・セタ

原案:ナンニ・モレッティ/脚本:リンド・フォルリ、ナンニ・モレッティ、ハイドラン・シエラフ/監督:ナンニ・モレッティ/プロダクション:ディレクターズ・フィルム・カンパニー/ディストリビューション:サントロ・サン/衣装:マリア・リタ・パルベラ/美術:ジャンカルロ・バロ/編集:エズメラルダ・カラブリア
音楽:ニコラ・ピオバーニ/音楽編集:エマージェンシー・ミュージック/撮影:ジュゼッペ・ランネ/製作:アンジェロ・バルバットロ、ナンニ・モレッティ for サケール・フィルム/監修:ナンニ・モレッティ/共同製作:サケール・フィルム・ローマ、BACフィルムズ、ステューディオ・カナル・パリ/ライツ:ネマ・Teveとのコラボレーションによる

2001年/イタリア映画/ビスタビジョンサイズ、SRD/DTS/SDOS/オリジナル・サウンドトラック/カサレアル・レコード/配給:ワーナー・ブラザーズ映画

www.warnerbros.co.jp AOLキーワード:息子の部屋

日本にける
イタリア
2001
ITALIA IN
GIAPPONE



2001年度カンヌ映画祭パルムドール賞受賞

最優秀作品賞

鳴り止まない拍手と賞賛の声!

人はきつと悲しみを乗り越えられる、と
思わせてくれる人間への信頼が暖かく胸にしみました。

渡辺祥子さん(映画評論家)



ここにある哀しみは温かい。
モレッティと一緒に、感情のドライブをした気分。

石川三千花さん(イラストレーター)

精神分析医という役柄が示すように、
人を癒す側にまわったモレッティ。
その成熟ぶりが、観るもの心も優しくさせる。

立田敦子さん(映画評論家)

近ごろ心に染み入るいい映画がないと
お嘆きの向きに、ぜひ一見をお勧めしたい。
哀切にして痛切、しかも含蓄に富み、余韻は深い。

秋山登さん(映画評論家)

家族の絆の深さが、切ないほど
しみじみと心にしみ込んでくる映画である。

佐藤忠男さん(映画評論家)



秘密——

学校。

15才。

虚無感。

恋。

お芝居。



これまで“イタリア人”だったモレッティと、
初めて同じ“人間”として心が通じ合った。

稲垣都々世さん(映画評論家)



何の特殊効果も使わずに、
人の心の痛みに寄り添えるだけ寄り添った傑作。

仏・フィガロ紙

ナンニ・モレッティの最も心優しく、
押さえない作品。紛れもなく美しい傑作。

仏・リベラシオン紙

息子を亡くした家族の哀悼の姿を
微塵のてらいもなく、感動的に描いた傑作。

仏・ル・モンド紙

胸が締めつけられるような悲しみが伝わってきた。
母親を亡くした直後に観ただけに、
家族の存在感について改めて考えさせられた。

野島孝一さん(映画ジャーナリスト)

息子の部屋

THE SON'S ROOM

あなたが家族に隠していたことは何ですか？

2000年「ダンサー・イン・ザ・ダーク」では“母の愛” そして2001年———新世紀のカンヌが選んだテーマは「家族」だった。

エンドロールの瞬間から鳴り始めた拍手は次第にスタンディングオベーションへ。
辛口の批評家やジャーナリストが集まるフランスのカンヌ映画祭で全員が総立
ちになって拍手を送った映画があった。パルムドール(最優秀作品賞)受賞作品
『息子の部屋』。かつて、ヴェネチア、ベルリン、そしてカンヌと、世界3大映画祭

を制覇したイタリアを代表する監督、名匠ナンニ・モレッティが描いた、新しい感
動の形。それは、去年の『ダンサー・イン・ザ・ダーク』の激しく感情をかき立てる
悲劇的な感動とは対照的な、疲れた現代人の心を深い慰めとやすらぎで満たす、
豊饒な感動。——カンヌで、またひとつ傑作が誕生した。

イタリアの小さな港町。妻、娘、息子とともに平穏な生活を送る裕福な精神分析医
ジョバンニは、15歳の息子アンドレアの通う学校から呼び出しを受ける。アンドレア
が理科の授業で使ったアンモナイトの化石を盗んだというのだ。「やっていない」と
いう言葉を家族は信じることにするが、しばらくたってはつりと彼はもらす。「本当は、
僕が盗ったんだ」。

テニスの試合に出ても、勝とうとする意欲があるように見えない。まるで、この世
の外から来た天使のように、何事にも執着しない。そんな、どこかつかみどころのな

い息子に、ジョバンニは軽いとまどいを覚えていた。そんなある日、ダイビング中の事
故でアンドレアが死んでしまう。幸福な生活は、一瞬にして断ち切られてしまった。

悲しみにくれる家族の前に、一人の少女が現れる。彼女は夏休みのキャンプで
知り合ったというアンドレアのガールフレンドだった。子供だとはかり思っていた息
子が、家族の誰も知らないところで恋をしていたのだった。彼女がアンドレアから
もらったという写真。そこは、まぎれもない息子の部屋、しかも自分たち家族の知ら
ない顔をしたアンドレアが写っていた……。

新春第2弾ロードショー

丸の内ピカデリー 03 (3201) 2881

新宿ピカデリー 03 (3352) 1771

渋谷シネパレス 03 (3461) 3534

池袋シネマ・ロサ 03 (3986) 3713